



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 昭光通商株式会社

コード番号 8090 URL <http://www.shoko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂井 伸次

問合せ先責任者 (役職名) 企画部長
兼 経理部長 (氏名) 森田 聡 TEL 03-3459-5111

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績（平成25年 1月 1日～平成25年 9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	119,472	20.1	1,649	17.3	1,625	16.4	1,125	37.8
24年12月期第3四半期	99,452	△4.2	1,406	8.1	1,396	9.5	816	△26.1

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 1,946百万円 (105.4%) 24年12月期第3四半期 947百万円 (6.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	10.28	-
24年12月期第3四半期	7.43	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第3四半期	62,479	17,675	28.0	159.80
24年12月期	55,391	16,195	29.1	147.31

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 17,491百万円 24年12月期 16,134百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	-	0.00	-	5.00	5.00
25年12月期	-	0.00	-	-	-
25年12月期(予想)	-	-	-	5.00	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想（平成25年 1月 1日～平成25年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	147,530	10.9	2,000	15.8	2,000	16.1	1,060	8.0	9.65

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、[添付資料]3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期3Q	112,714,687株	24年12月期	112,714,687株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	3,254,533株	24年12月期	3,182,014株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期3Q	109,493,022株	24年12月期3Q	109,903,219株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界情勢は、米国の住宅市場が回復基調にあります。中国の成長率の減速、欧州の経済が引き続き厳しい状況であり、先行き不透明な状況が継続しております。日本国内においては、政府による新たな経済、金融政策の効果に対する期待感から、円安基調を背景に輸出企業を中心とした企業業績の改善が顕現化しつつあるなど、緩やかに回復傾向にあります。

このような状況の中、当社グループでは、5ヵ年の中期経営計画の3年目として引き続き、「事業構造変革の推進」、「海外事業への更なる取り組み」及び「新規商材の拡充」等に積極的に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,194億72百万円（前年同期比20.1%増）、営業利益は16億49百万円（前年同期比17.3%増）、経常利益は16億25百万円（前年同期比16.4%増）、四半期純利益は11億25百万円（前年同期比37.8%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来、「合成樹脂」に含めておりました貿易事業の一部を、会社組織の変更に伴い、「情報電材その他」に報告セグメントを変更しております。また、当第3四半期連結累計期間の比較及び分析は、変更後の報告セグメントの数値に基づいております。

(化学品)

化学品部門につきましては、化学品関連は、酢酸エチルが市況の悪化及び安価な中国品との価格競争により減収となりました。一方、酢酸ノルマルプロピル（NPAC）は、輸入品が円安による影響を受け減少するなか、当社が取り扱う国内品は増収となりました。また、基礎化学品事業においても順調に推移し、増収となりました。

科学システム関連は、カラムの販売が官公庁及び民間企業の需要が減少したこと、円安による輸入商品の販売が減少したことにより、減収となりました。

肥料農材関連は、主力の肥料事業が順調に推移し増収となりました。

以上の結果、売上高は241億4百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益は2億93百万円（前年同期比28.7%減）となりました。

(合成樹脂)

合成樹脂部門につきましては、主力の国内品は、ナフサ市況高騰の影響を受け、合成樹脂原料の価格が上昇したため増益となりました。また、一部の商品で原料メーカーの特別価格対応によるスポット販売があり、増収となりました。開発分野において高機能性樹脂事業の開拓に引き続き注力しており、成果が顕現しつつあります。

以上の結果、売上高は288億47百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は1億97百万円（前年同期比53.2%増）となりました。

(金属)

金属部門につきましては、軽金属関連は、軽圧品が昨年引き続き需要家の減産等により販売が減少し、減収となりましたが、電解箔については、円安傾向により国内品の需要が増加したことと第1四半期連結会計期間に昭和電工アルミ販売株式会社の株式を65%取得し連結の範囲とし、ポール事業の製販一体化が実現したこと等により全体としては増収となりました。

無機材料関連は、レアアースは原料の市況が下落した価格で安定化するも、脱レアアースの技術が一段と普及する中で販売が減少しました。また、輸入電極は円安の影響により価格競争力がなく販売が低迷したため、減収となりました。

以上の結果、売上高は250億70百万円（前年同期比9.5%増）、営業利益は3億25百万円（前年同期比29.7%増）となりました。

(生活環境)

生活環境部門につきましては、住宅建材関連は、鋳鉄管が東北地区の入札が不調であったものの、昨年に引き続き主力の固定柱脚（商品名：ジャストベース）が大型物件の受注等により好調に推移しました。ただし、ポールの営業機能を昭和電工アルミ販売株式会社（金属部門）に移管したことにより、減益となりました。

食品関連は、主力のリンゴ酸が好調に推移しました。また、カラーゲンは東日本大震災の影響により昨年まで供給が停止状態にありましたが、第1四半期連結累計期間に仕入先の設備が回復し、供給が再開したことで販売が増加し、増収となりました。

以上の結果、売上高は102億84百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は3億62百万円（前年同期比22.8%増）となりました。

(情報電材その他)

情報電材その他部門につきましては、エレクトロニクス関連は汎用LEDの需要は緩やかに回復しておりますが、供給過多となり価格競争が激化し売上高が減少した一方で、赤外LEDチップの販売は堅調に推移しました。また、前第3四半期連結累計期間はスポットで中国向けのサファイア製造装置の販売がありましたが、当第3四半期連結累計期間においては販売がなかったことから、減収となりました。光焼成装置は、秋以降予定されている新製品の発売に伴う買い控えにより減収となりました。

海外事業では、鉄鉱石貿易が伸長し、昭光通商(上海)有限公司の鉄鋼原料等が引き続き好調に推移したこと等により増収となりました。

以上の結果、売上高は311億66百万円(前年同期比116.6%増)、営業利益は4億75百万円(前年同期比48.2%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産は、624億79百万円(前連結会計年度末比12.8%増)となりました。これは、「受取手形及び売掛金」が増加したことが主因であります。

負債は、448億3百万円(前連結会計年度末比14.3%増)となりました。これは、「短期借入金」が増加したことが主因であります。

純資産は、176億75百万円(前連結会計年度末比9.1%増)となりました。これは、「利益剰余金」が増加したことが主因であります。

この結果、自己資本比率は1.1ポイント下降して28.0%になりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の連結業績予想は、平成25年2月8日に公表しました「平成24年12月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、有形固定資産の減価償却方法について、従来、主として定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、親会社である昭和電工株式会社の減価償却方法の変更を契機として有形固定資産の使用実態を見直した結果、当社及び国内連結子会社の事業における有形固定資産は、耐用年数にわたり安定的に利用しており、費用を均等に計上する定額法が当社及び国内連結子会社の企業活動をより適切に反映する減価償却方法であると判断したことによるものであります。

これにより、従来の方法によった場合と比較して、当第3四半期連結累計期間の減価償却費の減少額及び損益に与える影響はそれぞれ軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,470	3,602
受取手形及び売掛金	35,480	42,099
商品及び製品	2,564	3,029
販売用不動産	12	12
仕掛品	135	157
原材料及び貯蔵品	306	394
その他	2,091	2,026
貸倒引当金	△113	△112
流動資産合計	44,949	51,211
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,561	1,570
機械装置及び運搬具(純額)	120	144
土地	4,900	5,008
その他(純額)	82	98
有形固定資産合計	6,664	6,821
無形固定資産		
のれん	41	30
その他	265	358
無形固定資産合計	307	389
投資その他の資産		
投資有価証券	2,501	3,158
長期貸付金	11	10
繰延税金資産	168	83
その他	897	909
貸倒引当金	△108	△104
投資その他の資産合計	3,470	4,057
固定資産合計	10,442	11,267
資産合計	55,391	62,479

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,639	28,890
短期借入金	839	6,949
未払法人税等	386	454
賞与引当金	152	378
その他	1,872	3,644
流動負債合計	33,890	40,316
固定負債		
長期借入金	2,000	2,000
退職給付引当金	822	866
その他	2,483	1,620
固定負債合計	5,305	4,486
負債合計	39,195	44,803
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,021	8,021
資本剰余金	0	0
利益剰余金	7,214	7,815
自己株式	△465	△475
株主資本合計	14,770	15,362
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	316	791
繰延ヘッジ損益	0	2
土地再評価差額金	839	839
為替換算調整勘定	206	495
その他の包括利益累計額合計	1,364	2,128
少数株主持分	60	184
純資産合計	16,195	17,675
負債純資産合計	55,391	62,479

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	99,452	119,472
売上原価	93,067	112,148
売上総利益	6,384	7,324
販売費及び一般管理費	4,978	5,674
営業利益	1,406	1,649
営業外収益		
受取利息	29	11
受取配当金	60	56
雑収入	21	47
営業外収益合計	111	115
営業外費用		
支払利息	69	70
為替差損	29	42
雑損失	22	25
営業外費用合計	121	139
経常利益	1,396	1,625
特別利益		
投資有価証券売却益	—	31
負ののれん発生益	—	85
契約解除補償金	—	140
受取損害賠償金	67	—
特別利益合計	67	257
特別損失		
投資有価証券清算損	23	50
投資有価証券評価損	17	—
固定資産除売却損	1	—
契約等解除損失	46	—
その他	0	3
特別損失合計	87	53
税金等調整前四半期純利益	1,375	1,828
法人税、住民税及び事業税	592	713
法人税等調整額	△50	△61
法人税等合計	541	652
少数株主損益調整前四半期純利益	833	1,176
少数株主利益	17	50
四半期純利益	816	1,125

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	833	1,176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	110	480
繰延ヘッジ損益	1	1
為替換算調整勘定	2	287
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	1
その他の包括利益合計	113	770
四半期包括利益	947	1,946
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	926	1,890
少数株主に係る四半期包括利益	20	56

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	化学品	合成樹脂	金属	生活環境	情報電材 その他	計		
売上高								
外部顧客への売上高	23,230	28,808	22,900	10,128	14,385	99,452	—	99,452
セグメント間の内部売上高又は振替高	27	15	6	11	185	246	△246	—
計	23,258	28,823	22,906	10,139	14,571	99,698	△246	99,452
セグメント利益	412	128	250	294	320	1,407	△1	1,406

(注) セグメント利益の調整額△1百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	化学品	合成樹脂	金属	生活環境	情報電材 その他	計		
売上高								
外部顧客への売上高	24,104	28,847	25,070	10,284	31,166	119,472	—	119,472
セグメント間の内部売上高又は振替高	77	109	1,004	42	722	1,956	△1,956	—
計	24,181	28,956	26,074	10,327	31,888	121,428	△1,956	119,472
セグメント利益	293	197	325	362	475	1,653	△3	1,649

(注) セグメント利益の調整額△3百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。これは、第1四半期連結会計期間において、昭和電工アルミ販売株式会社の株式を65%取得し、新たに連結の範囲に含めたことによるものです。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「金属」セグメントにおいて2,701百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれんの発生益)

「金属」セグメントにおいて、昭和電工アルミ販売株式会社の株式を65%取得し、連結の範囲に含めたことに伴い負ののれんが発生いたしました。当該事象による当第3四半期連結累計期間の負ののれん発生益の計上額は76百万円であります。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「合成樹脂」に含めておりました貿易事業の一部を、会社組織の変更に伴い、「情報電材その他」に報告セグメントを変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。